

役員並びに班長の皆様へ

2018 年 9 月 22 日

前年度班長並びにサポーターの皆様へ

桐陽台二丁目自治会

会長 佐々木 満

第 4 回 三入東学区高齢者見守りネットワーク準備会 報告

2018 年 9 月 13 日(木) 19 時 30 分～20 時 15 分 コミュニティーセンター 1 階ホール

1. 出席者確認

三入・可部包括支援センター3 名

山田町内会1、山田自治会1、梢台町内会1、一丁目自治会 3、二丁目自治会 5 名

地区社会福祉協議会4、地区民生委員+民生委員協力員 7 名、亀友会 1 名

合計 23 名参加

2. 高齢者に寄り添う自治会を考える会の開催に始まり、今回の準備会に至るまでの経緯が以下のように佐々木から説明された。

- (1) 2017 年度、高齢者に寄り添う二丁目自治会を考える会と称して、高齢者に住みよい環境を提供できる自治会を目指して広島市の補助事業についての学習を開始した。
- (2) 学習の結果、包括支援センターの関わる高齢者見守りネットワークは場所と資金を必要とせず、自治会役員に過度の負担を強いることもないことが判明した。
- (3) 高齢者見守りネットワークが高齢者にとって利益になると思われたことから、導入範囲を学区に広げ、学区内の自治会町内会等に導入の準備会開催を呼びかけた。
- (4) 準備会を開催したところ、第 1 回が 2017 年度で、第 2 回が 2018 年度と年度が変わっていたため、参加者の顔ぶれも半数以上が変わり、高齢者見守りネットワークの導入については再スタートとなった。
- (5) 学区内諸団体の情報交換等を対象とした三入東見守りネットワーク運営委員会と見守り対象高齢者と直接接する学区内各自治会・町内会とが役割分担をするべく、本日を三入東見守りネットワークの立ち上げに位置付けた。

3. 三入東高齢者見守りネットワークについて、包括支援センターと佐々木の案を前もって地区社協に披露していたところ、地区社協から修正案が佐々木に示された。佐々木もその修正案に納得したことから、本日の参加者には三入東高齢者見守りネットワークについての修正案が示され、藤本風明地区社協会長から以下のごとく説明を受けた。

- 高齢者見守り活動は三入東地区社協が「福祉のまちづくり推進委員会」でも行っており、見守りネットワークと目指すところは同じである。

包括支援センターが提案した組織構成と「福祉のまちづくり推進委員会」の構成メンバーは酷似している。